

# 第 1 章

## 調査研究概要

---



## 第1章 調査研究概要

### 1. 調査研究の趣旨・目的

我が国における介護は、圧倒的に家族介護に依るところが大きいのが現状である。平成22年度「国民生活基礎調査」の結果をみると、「要介護者等のいる世帯の状況」としては約6割が単独世帯・核家族世帯であり、主な介護者の属性は同居の家族等が64.1%で最も多く、次いで事業者が13.3%、別居の家族等が9.8%となっており、同居と別居とを合わせると約7割は家族が主たる介護者となっている。さらに同居の場合、主たる介護者と要介護者との組合せを年齢階級別にみると、70～79歳の要介護者に対しては70～79歳の人が介護している割合が42.6%である。このように、介護を担う家族自身が高齢化する「老老介護」の問題はじめ、「男性介護」、「認知介護」、「親子介護」など家族介護をめぐる問題が年々深刻化してきている。

しかしながら、家族介護の現状についての実態把握等に関する本格的な調査研究は少なく、また散発的に実施されていることから、全体概要がわかりにくく、体系的整理もできていないのが現状であり、本調査研究では、これまでに実施された各種調査研究の成果（文献等）を、インターネット等を介して可能な限り検索し、これを収集・整理した上で、内容の把握を行い、これまでの調査研究における到達点を明らかにすることとした。

また、この現状把握の過程で、近年、ワーク・ライフ・バランスの観点から、「仕事と介護の両立」という課題が急速に深刻化してきていることが明らかになってきた。総務省「労働力調査」によれば、完全失業者（働く能力と意思があり、現在求職活動をしているが、就業できていない人）のうち、前職の離職理由が介護・看護と回答した人は、2009年で4万人（全完全失業者のうち1.7%）、2013年では5万人（同2.7%）であり、親の介護を理由とした「介護離職」は増加傾向にある。介護者は、とりわけ働き盛り世代で、企業の中核を担う労働者であることが多く、企業において管理職として活躍する方や職責の重い仕事に従事する方も少なくない。そうした中、介護は育児と異なり突発的に問題が発生することや、介護を行う期間・方策も多種多様であることから、仕事と介護の両立が困難となる問題に直面している人も多く、そういった人を今後どのように支えていくかということが最も重要な課題となっている。さらには、親が遠距離で暮らしている（遠距離介護）場合には、仕事と介護の両立がより一層困難となることが指摘されている。このため、この課題に対する現状の把握を行うため「仕事と介護の両立、遠距離介護」に関するWEBアンケート調査を実施することとした。

このように本調査研究は、我が国の介護の基盤となっている「家族介護」に関するこれまでの調査研究成果について、インターネット等を活用して文献等を収集することで、現時点での全体像を明らかにし、体系的に整理することに努めた。また、その過程で、現在、新たな課題として深刻化しつつある「仕事と介護の両立、遠距離介護」の問題に焦点を当て、追加的なWEBアンケート調査を実施することとした。こうした二つの取り組みにより、我が国の「家族介護」に関するこれまでの到達点を明らかにするとともに、今後大きな課題となることが予想される「仕事と介護の両立、遠距離介護」についてのデータも得ることで、我が国の介護を支える家族介護者の負担を軽減するための支援方策の検討のための基礎的なデータの整理・体系化を行うことを目的として実施したものである。

## 2. 事業内容

本調査研究事業は、次の2つの調査で構成される。

- 家族介護に関する既存研究の調査
- 仕事と介護の両立、遠距離介護に関する調査

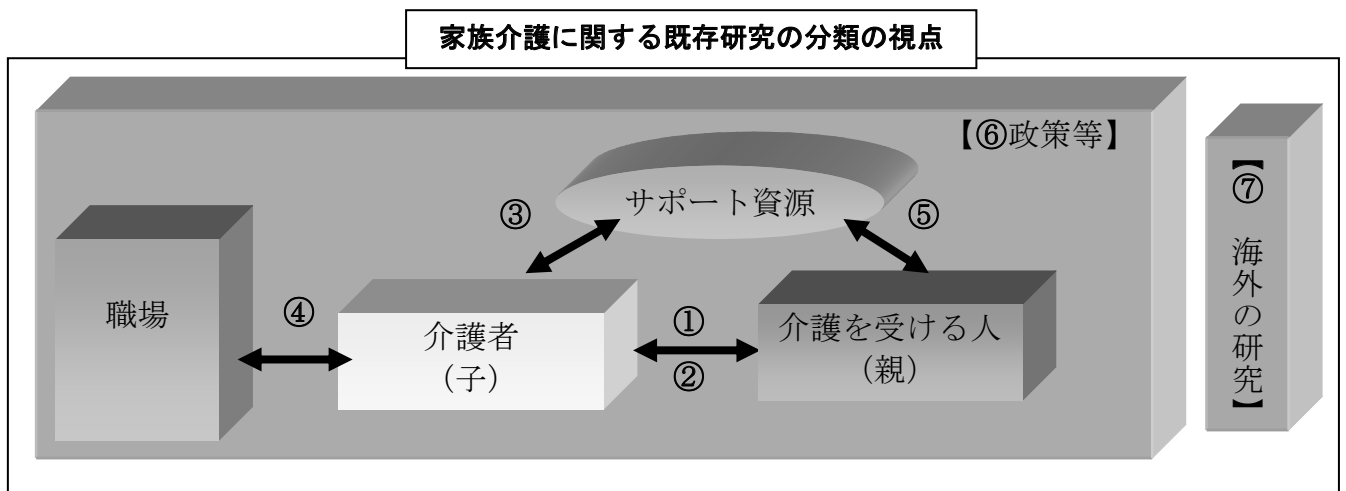
以下、各調査についての実施方針について説明する。

### (1) 家族介護に関する既存研究の調査

国内の家族介護に関する研究を、既存の研究データベースより抽出する。抽出した文献を以下の分析視点に基づき分類し、現時点の家族介護に関する研究の全体像を把握する。

#### 【分析視点】

- 家族介護についての既存研究を、以下の7つの視点に分類し、家族介護についての既存研究がどのような視点で行われてきたのかを整理する。
- 既存研究の研究実施年を「直近5年（2008～2012年）」と「それより前（2007年以前）」とに分類し、家族介護に関する既存研究の経年変化をみる。



- ① **別居形態に着目** →遠距離介護
- ② **介護者(子)と介護を受ける人(親)の関係** →介護負担、ストレス等
- ③ **介護者(子)に対するサポート** →サービスの効果、虐待防止等
- ④ **介護者(子)と職場の関係** →仕事と介護の両立
- ⑤ **介護を受ける人(親)に対するサポート** →自立を引き出す支援等
- ⑥ **政策等** →家族介護の政策に関する研究、判例等
- ⑦ **海外の研究** →諸外国の家族介護に関する研究等

## (2) 仕事と介護の両立、遠距離介護に関する調査

今後の家族介護の主要な課題と考えられる、仕事と介護の両立、遠距離介護に焦点を当て、当領域について先行研究では触れられていない課題に言及するため追加調査（Web アンケート）を実施する。その結果を踏まえて、今後の仕事と介護の両立、遠距離介護への方策に資するための提言を行う。